

ひとつだけ伝えたい。

「大キライだったけど、

お母さん、

ありがとう。」

麦子さんと

突然舞い戻って、
突然死んでしまったお母さん。
でも私たちとお母さんの物語は、
そこから始まる——。



堀北真希 松田龍平 温水洋一 ガダルカナル・タカ 麻生祐未 余貴美子

監督：吉田恵輔 脚本：吉田恵輔・仁志原了

挿入曲：「赤いスイートピー」松田聖子（ソニー・ミュージックダイレクト）

mugiko.jp

映倫
12214

G
12214

制作プロダクション：ステアウェイ 製作：ファントム・フィルム／ステアウェイ 配給：ファントム・フィルム ©「麦子さんと」製作委員会 (2013/日本/カラー/95分)

お母さんはアイドルだった!? 堀北真希主演! 兄に松田龍平、母に余貴美子、豪華映画スターが親子で共演。この冬心を温める、珠玉のハートフル・エンタテインメント。

松田聖子の名曲、「赤いスイートピー」がクライマックスに!

本作は監督自らの亡き母への想いも重なり、出来上がった渾身の一作。そこに必要不可欠だったのは、松田聖子による名曲「赤いスイートピー」。史上初めて映画挿入曲として提供され、ラストシーンはこの歌なくしては実現できなかったほどに、これまでの物語の喜び、哀しみ、そして懐かしさをすべてが一緒になって、感動のクライマックスを迎える。



声優をめざすアニオタ女子、という現代っ子を演じた堀北真希。親に無関心だった麦子が母の青春に巻き込まれ、やがてひとりの女性として成長していく道のりを等身大で演じる。嫌っていた母と接するごちなさや不慣れさの表現が、今までにない彼女の魅力を引き出し、見ている我々も、麦子と自分の人生を重ね合わせることができるようになる。そのリアルさや自然さを引き出しているのが、頼りないながらも長男らしい優しさをたたえ、その圧倒的存在感で映画界を牽引する松田龍平。明るく振る舞う裏に哀愁を隠し、無償の愛で麦子を包み込む母に余貴美子。そして母の故郷で麦子を迎え入れる人々を、麻生祐未、温水洋一らが囲め、朗らかな笑いにホッと、最後には思いがけない涙で包まれていく。

「あなたのこと、母親だと思ってないから」
私たちが捨てたお母さんが突然死んだ。
私とお母さんの物語はそこから始まる——。

声優をめざす麦子は、専門学校への入学金をアルバイトで稼ぐ日々。一緒に暮らす兄はなんだか頼りない。そんなある日、自分たちを捨てた母親が突然舞い戻った。顔も覚えていない母との生活に戸惑う麦子。そして投げつけた一言、「あなたのこと、母親だと思ってないから」。その言葉を最後に、母は帰らぬ人となった。実感のない麦子だったが、兄に押し付けられて母のふる里へ納骨に行くはめに、そこで初めて知ったこと・・・母は町のアイドルだった! さらに麦子は母の昔の姿にうりふたつだった。母のステッカー、母の応援団!? アイドルの再来に色めき立つ町の人々に振り回されながら、麦子は自分たちを捨てたはずの母の青春、人生を初めて知る。だが、このふる里を離れる日は刻々と近づいていた・・・。



堀北真希 松田龍平
温水洋一 ガダルカナル・タカ ふせり 岡山天音 田代さやか
麻生祐未 余貴美子
監督:吉田恵輔 脚本:吉田恵輔・仁志原了
挿入曲:「赤いスイートピー」松田聖子(ソニー・ミュージックダイレクト)
制作プロダクション:スタアウェイ 製作:ファントム・フィルム・スタアウェイ
配給:ファントム・フィルム ©「麦子さんと」製作委員会 (2013/日本/カラー/95分)
mugiko.jp
Twitter: @mugiko_movie

笑った分だけ幸せになって、泣いた分だけ優しくなれる。

1.4 (sat) 公開!